

石巻地域センター地域支援課活動報告

石巻地域センター地域支援課(以下、当課)の2024年度の東日本大震災による被災地域での活動は、石巻保健所管内の石巻市、東松島市、女川町であった。

【地域住民支援事業】

1. 個別支援

2012年4月の開所以降、当課では自治体における被災者健康調査への協力を中心として、他機関から紹介された方、直接体調不良を訴える方や心の悩みをかかえる方への支援を行ってきたが、健康調査の終了により、相談件数は減少した。

みやぎ心のケアセンター（以下、当センター）の活動終了を踏まえ、自治体の保健活動への移行を考慮し、住民から直接相談があった場合は、保健所や市町などと連携して支援を行った。また、関係機関からの同行訪問などの依頼に対応した。

(1) 石巻市

2024年度は、石巻市保健福祉部健康推進課（以下、健康推進課）保健師から相談を受けて同行訪問を実施した。また、牡鹿総合支所市民福祉課から協力依頼があり、アルコール依存症ケースの支援方法や今後の方向性について検討し、助言などを行った。

(2) 東松島市

2024年度は、東松島市保健福祉部健康推進課（以下、健康推進課）から個別支援の依頼はなかった。

(3) 女川町

2024年度は、女川町健康福祉課健康対策係（以下、健康福祉課健康対策係）から協力依頼があり、アルコール依存症ケースの支援方法や今後の方向性について検討し、助言などを行った。

【支援者支援事業】

1. 支援者コンサルテーション事業（専門的立場からの助言など）

(1) 石巻保健所

- ① 年度当初に精神保健担当者に対応困難事例、支援要望などについて打ち合わせを行った。
- ② 管内精神保健福祉担当者会議が開催され出席した。管内の状況、精神保健福祉事業の取り組みおよび課題について（保健所・各市町・当課からの報告）、情報交換や検討（管内の精神保健活動について・「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」について）が行われた。
- ③ 保健所からの依頼により、措置入院解除者への同行訪問を継続した。
- ④ 保健所からの依頼により、令和6年度石巻圏域自死対策研修会の講師を担った。

(2) 石巻市

- ① 健康推進課精神保健グループと必要時打ち合わせを行った。石巻市では震災後、精神保健に関連する事業所や庁内関係課など多職種が共通認識をもって連携していくため、「心のケアミーティング」を主催している。2024年度は当課が「心のケアミーティング」で講師を務め、協力した。
- ② 健康推進課母子保健グループからの依頼により、本庁地区の各種乳幼児健康診査に協力し、親と子どもの健康状態の確認、親の相談に対応し、カンファレンスでは子どもの特性やその対応、さまざまな背景をもつ親への支援について検討した。

- ③ 健康推進課の地区担当保健師が関わっているケースの相談に、随時対応した。
- ④ 「石巻市子育て世代包括支援センター『いっしょ issyo』へびた」での子育て相談では、母親などから直接相談を受けるとともに、相談支援スタッフと相談後の支援の方向性などを検討した。相談内容として多かったのは、子どもの心身の発達、子どもの特性やその対応、しつけ、きょうだいへの対応、子どもとのコミュニケーションなどだった。また、親が抱える問題（育休復帰の不安、仕事と家庭の両立、DV・ワンオペ育児、子どもを持つことへの悩み、ステップファミリー、死産・流産後の次子の育児の困惑、ダブルケア、親のトラウマが子どもに与える影響、地震によるフラッシュバックや体調不良など）が複雑に絡み合い、親のストレスが子どもとの関係に影響しているという内容が多かった。
- ⑤ 新任期保健師研修会の事例検討において、助言者として参加した。
- ⑥ 石巻市自死対策連絡協議会に委員として出席した。

（３）東松島市

- ① 健康推進課と必要時打合せを行った。
- ② 東松島市自死対策地域連絡協議会に委員として出席した。

（４）女川町

- ① 健康福祉課健康対策係と隔月で打合せを行い、精神保健福祉事業や個別ケースなどを共有した。
- ② 健康福祉課福祉係からの依頼により、新規採用職員と保健推進員を対象とした「自殺対策等研修会」の講師をそれぞれ担った。

２．子どものこころのケアに関する支援者に対する支援（支援者へのコンサルテーションや研修など）

（１）子ども支援施設等訪問事業

保育所において２回実施した。事業実施の際には、事前に担当保健師から子どもを取り巻く家族を含めた環境などの情報提供を受け、当日は子どもの行動観察後、スタッフカンファレンスを行った。

カンファレンスでは施設側支援者、子どもや家族支援の地区担当保健師が参加し、子どもの問題行動の見立て、対応方法、親への支援方法など、意見交換を行った。

事例により内容は異なるが、子どもの問題行動の理解と対応、愛着形成のリスク、感情の表出、親の強みを支援にどう生かすか、支援者のメンタルヘルスなどが講話のテーマとなった。

【普及啓発事業】

１．メンタルヘルス普及啓発促進事業

（１）石巻昼例会（断酒会）

宮城県断酒会からの依頼により、月１回の開催時に後方支援を行った。

（２）石巻市蛇田地区保健推進委員会

石巻市健康推進課からの依頼により、メンタルヘルスに関する研修会の講師を担った。

２．メンタルヘルス情報の発信

保健所および２市１町からの情報提供の依頼に対応した。

【まとめ・今後の展望と課題】

石巻圏域では2021年度以降の地域精神保健福祉活動の方向性について、保健所と共有し、「地域の支援者同士が力量を上げ、お互いに連携をしながら住民に支援を行う」ことを目標として市町などへの支援を行ってきた。市町などからの依頼に対しては、同行訪問の実施や事例検討、コンサルテーションを通じて、保健師などの支援者のスキル向上に資することを意識した支援を行うとともに、関係機関からの依頼にも対応した。

また、2024年度は「みやぎ心のケアセンター第2次運営計画（令和3年度～令和7年度）」の4年目にあたり、活動終了に向けて地域精神保健福祉活動への移行を徐々に進めてきたことから、活動量は年々減少した。

2025年度は、当センターの活動最終年度となる。限られた時間の中で関係機関からの依頼には可能な限り対応し、地域の支援者を後方から支えて行きたい。また、県では心のケアを含めた「精神障害者にも対応した地域包括システム」の全県的な推進を掲げ、石巻圏域でも取り組みが強化されることとなっており、当センターにおける活動の円滑な移行に努め、活動を終了していきたいと考えている。